

# 日本語における内心構造の用法の分析

(統語論・意味論からの一考察)

デュウイ アステュティ

0542035



マラナタキリスト教大学

文学部

日本文学科

バンドン

2009

# 日本語における内心構造の用法の分析

## (統語論と意味論の考察において)

### 序論

「2つ以上の語が結びついた言語単位を日本語には句と言います。」

(町田健「言語学入門」2000、pp14) ロングマンによると「句は一つの文法的単位をなす語群であるが、定形動詞を含まず、主部と述部構造をとらない。」と並べています(ロングマン「ロングマン応用言語学用語辞典」1985 : pp51)。

日本語の句は構造とその構成素に基づき、大きく二つに分けられます：

1. 内心構造つまり大きな構造が構成要素の一つと同じ機能を担っているもの。
2. 外心構造つまり大きな構造が構成要素のいずれとも異なる機能を果たしている場合。

1、で挙げた内心構造は、大きく二つに分けられる。すなわち等位構造と従位構造である。

- 1.1 等位構造とは、構造体はその構成要素の二つ、あるいはそれ以上と同じ形式類に属する場合を指す。

例：男性と女性

N N

男性と女性という二つの構成要素のどちらも同じ形式類に属する。等位構造は、等位の構成要素および等位連結詞（と）から成り立っている。

1.2 従位構造とは、構造体はその構成要素のうちの一つだけと形式類を同じくする場合を指す。

例：赤いシャツ

シャツが主要部、赤いが限定部である。

日本語の内心構造はさまざまな視点から見ることができる。つまり統語論、品詞分類、意味論の視点からみることができるのである。本論文では日本語の内心構造の句の分析を試みたいと思う。

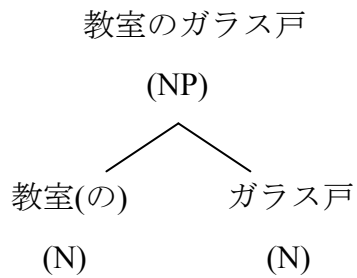
## 本論

日本語の内心構造を構成要素及び意味論から考察を試みると、次のようなものがある。

### 1. 従位構造

#### 1.1 名詞<sub>1</sub> + の + 名詞<sub>2</sub>

例：教室のガラス戸 （宮沢賢治、「風の又三郎」2004 : pp12)

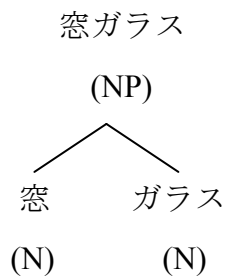


構造：教室が修飾語、ガラス戸が主要部。

意味：pintu kelas kaca

### 1.2 名詞<sub>1</sub> + Φ + 名詞<sub>2</sub>

例：窓ガラス (宮沢賢治、「風の又三郎」2004 : pp15)

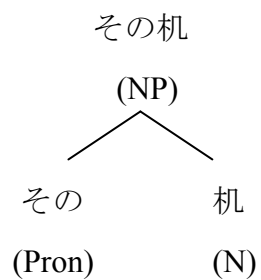


構造：窓が修飾語、ガラスが主要部。

意味：jendela kaca

### 1.3 連体詞 + Φ + 名詞

例：その机 (宮沢賢治、「風の又三郎」2004 : pp9)

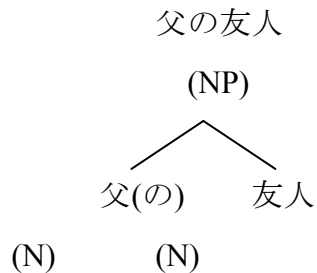


構造：そのが修飾語、机が主要部。

意味：meja itu

#### 1.4 代名詞+ の + 名詞

例：父の友人 （井上美由紀「生きてます、15歳」2006：pp8）

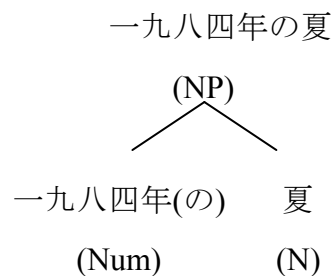


構造：父が修飾語、友人が主要部。

意味：teman baik ayah

#### 1.5 数詞+ の + 名詞

例：一九八四年の夏 （井上美由紀「生きてます、15歳」2006：pp6）

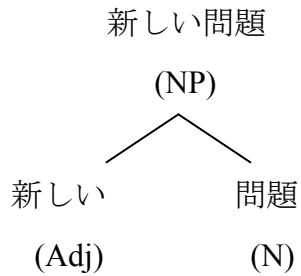


構造：一九八四年が修飾語、夏が主要部。

意味：musim panas tahun 1984

#### 1.6 イ形容詞+ 名詞

例：新しい問題 （宮沢賢治、「風の又三郎」2004：pp34）

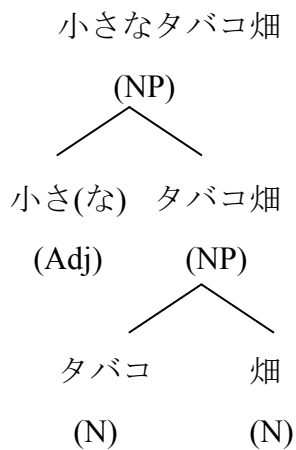


構造：新しいが修飾語、問題が主要部。

意味： masalah (yang) baru

### 1.7 ナ形容詞 + 名詞

例：小さなタバコ畑 （宮沢賢治、「風の又三郎」2004：pp61）

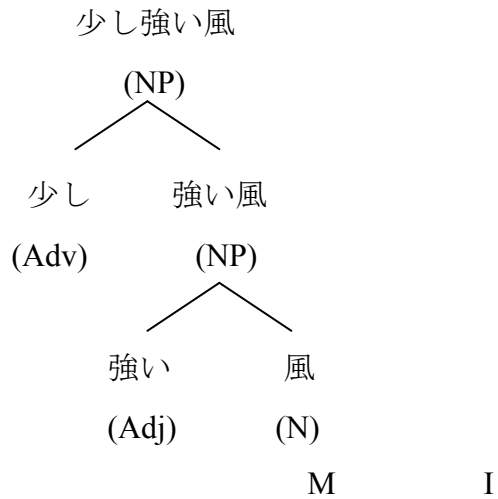


構造：小さ(な)が修飾語、タバコ畑が主要部。

意味： ladang tembakau kecil

### 1.8 副詞 + Φ + 名詞

例：少し強い風 （宮沢賢治、「風の又三郎」2004：pp52）



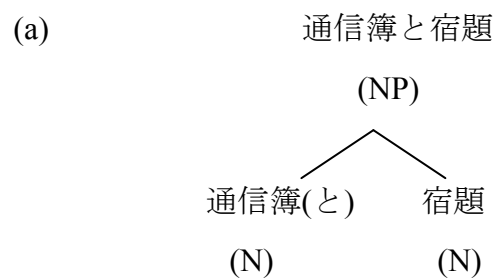
構造：少しが修飾語、強い風が主要部。

意味：angin sedikit kencang

## 2. 等位構造

### 2.1 名詞<sub>1</sub> + と + 名詞<sub>2</sub>

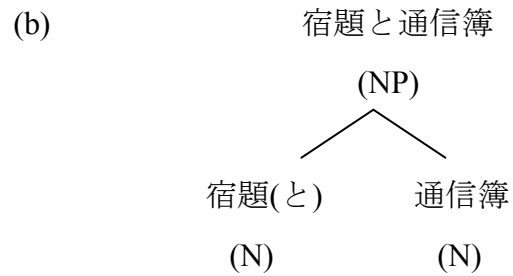
例：通信簿と宿題



この二つの名詞は両方とも主要部になっている。その構造体を置き換

えても。意味的には同様である。

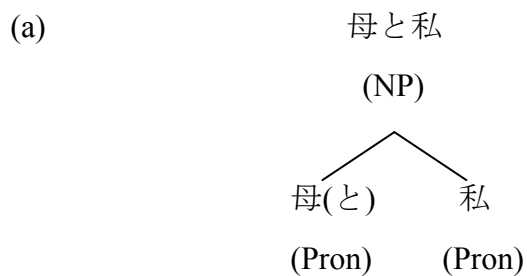
例：宿題と通信簿



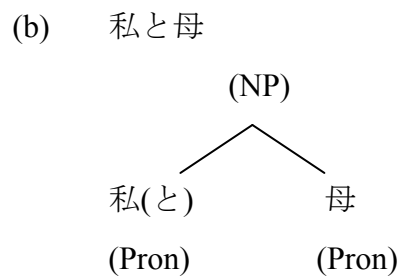
意味 : rapor dan pekerjaan rumah

## 2.2 代名詞<sub>1</sub> + と + 代名詞<sub>2</sub>

例 : 母と私



この二つの代名詞は両方とも主要部になっている。その構造体を置き換えても。意味的には同様である。



意味 : ibu dan saya



## 結論

内心構造の使い方を分析してみた結果、次の結論を引き出すことができる。

1. 日本語の内心構造を構成する要素として次のようなものがある。

### 1.1 従位構造

- 名詞<sub>1</sub> + の + 名詞<sub>2</sub>
- 名詞<sub>1</sub> + Φ + 名詞<sub>2</sub>
- 連体詞 + Φ + 名詞
- 代名詞 + の + 名詞
- 数詞 + の + 名詞
- イ形容詞 + 名詞
- ナ形容詞 + 名詞
- 副詞 + Φ + 名詞

### 1.2 等位構造

- 名詞<sub>1</sub> + と + 名詞<sub>2</sub>
- 代名詞<sub>1</sub> + と + 代名詞<sub>2</sub>

2. 内心構造はいろいろな意味を持っている。その意味は構造体に見られる。内心構造は意味が曖昧なものもある。その構造は：

形容詞 + 名詞句 (名詞 + 名詞) である。

この論文において、日本とインドネシアの内心構造を分析した結果、日本においては、内心構造の構造体はとてもバラエティの富んでいることがわかる。

## DAFTAR ISI

KATA PENGANTAR .....	i
DAFTAR ISI .....	iv
BAB I. PENDAHULUAN	
1.1 Latar Belakang Masalah .....	1
1.2 Rumusan Masalah .....	8
1.3 Tujuan Penelitian .....	8
1.4 Metode Penelitian dan Teknik Kajian .....	8
1.4.1 Metode Penelitian .....	8
1.4.2 Teknik Kajian .....	8
1.5 Organisasi Penulisan Skripsi .....	10
BAB II. KAJIAN TEORI	
2.1 Sintaksis .....	11
2.2 Frase .....	15
2.3 Semantik .....	17
2.3.1 Semantik Gramatikal .....	19
2.3.2 Semantik Leksikal .....	20
2.3.3 Ketaksaan (Ambiguitas) .....	20
2.4 Frase Endosentris .....	22
BAB III. ANALISIS PENGGUNAAN FRASE ENDOSENTRIS DALAM BAHASA JEPANG	

3.1 Frase Endosentris Atributif .....	28
3.1.1 名詞 <sub>1</sub> + の + 名詞 <sub>2</sub> .....	28
3.1.2 名詞 <sub>1</sub> + Φ + 名詞 <sub>2</sub> .....	30
3.1.3 連体詞 + Φ + 名詞 .....	32
3.1.4 代名詞 + の + 名詞 .....	35
3.1.5 数詞 + の + 名詞 .....	36
3.1.6 イ形容詞 + 名詞 .....	38
3.1.7 ナ形容詞 + 名詞 .....	43
3.1.8 副詞 + Φ + 名詞 .....	48
3.2 Frase Endosentris Koordinatif .....	52
3.2.1 名詞 <sub>1</sub> + と + 名詞 <sub>2</sub> .....	52
3.2.2 代名詞 <sub>1</sub> + と + 代名詞 <sub>2</sub> .....	54
BAB IV. KESIMPULAN .....	57
SINOPSIS .....	vi
DAFTAR PUSTAKA .....	xv
LAMPIRAN DATA .....	xvii
RIWAYAT HIDUP .....	xxxiv